

2018年度化学物質環境実態調査結果 地域別データ

調査名: 詳細環境調査
 調査媒体: 底質(ng/g-dry)
 地方公共団体: 埼玉県
 調査地点: 柳瀬川志木大橋(志木市)

調査対象物質	測定値			報告時 検出下限値	検出下限値
	検体1	検体2	検体3		
[1] アルキルベンゼンスルホン酸(アルキル基は直鎖状で炭素数が10から14までのもの。)及びその塩類(別名: LAS(アルキル基の炭素数が10から14までのもの。)及びその塩類)	nd	nd	nd	※※57	※※120
[1-1] 直鎖デシルベンゼンスルホン酸及びその塩類	nd	nd	nd	4.8	8.9
[1-2] 直鎖ウンデシルベンゼンスルホン酸及びその塩類	nd	nd	nd	18	38
[1-3] 直鎖ドデシルベンゼンスルホン酸及びその塩類	nd	nd	nd	19	40
[1-4] 直鎖トリデシルベンゼンスルホン酸及びその塩類	nd	nd	nd	15	32
[1-5] 直鎖テトラデシルベンゼンスルホン酸及びその塩類	※1.3	※0.96	nd	0.60	2.0

(注1) 「nd」は不検出を意味する。

(注2) ※: 参考値(調査対象物質ごとに統一して設定した「検出下限値」未満)

(注3) ※※: アルキル基の炭素数別の検出下限値の合計値である。